



2020年4月1日より技術担当専任(FA コーチ)として活動している飽田 敏(あくた さとし)です。就任と同時にコロナ禍となり、さまざまな制限がありました。活動制限・ガイドラインも廃止になり、いよいよ通常活動に戻ってきました。

FA コーチ(技術担当専任)設置の目的は、JFA が各都道府県サッカー協会における指導者養成事業やトレセン活動等の育成事業に「専任」で携わる人材を配置し、指導者の質及び量とトレーニング環境を向上させることにあります。NFA で担当する業務内容は、

- (1) 技術委員長への提案・サポート
- (2) トレセンコーチ、チューター[※]への指導
- (3) B・C・D 級コーチライセンス講習、リフレッシュ研修の講師
- (4) 登録指導者および登録チームの活動支援
- (5) 差別・暴力・暴言根絶の取り組み
- (6) JFA 技術委員会/トレセンコーチ/JFA 技術部との窓口
- (7) 国体強化関連指導
- (8) 4 種・女子への育成指導
- (9) グラスルーツおよびキッズに関わる普及事業
- (10) 部活動支援等 NFA が必要とする事項

等です。

※ チューター：コーチエデュケーションチューターの略。指導者養成事業において以前のインストラクターの立場から、より参加者によりそい、個別の参加者へのサポートを大切にしていくことから「チューター」という言葉に変更になりました。

今回の通信では、この業務内容のうち、(2)・(3)の指導者養成、トレセンへの関わりについて紹介します。

「指導者養成事業」

○養成講習会・研修会

2022 年度は県内で開催している B 級、C 級、キッズリーダー養成講習会を担当しました。B 級養成講習会は、JFA の「B 級スタンダード計画」により、それまでの JFA コースのみだった開催方法が、2017 年から各 FA コースとして開催できるようになりました。長野県も 2017 年から FA コースを開催し、私はそこでスクールマスターとして全日程に関わっています。2022 年度からチューター2 名体制で開催できるようになりました。2023 年度も 5 月 6 日から前期の日程が始まりました。また、公認指導者のリフレッシュ研修会の講師、U-12 リーグ指導者研修会、U-15 リーグのゲーム改善ミーティング(リーグ参加チーム監督の

研修会)も担当しています。

未来を担う選手・人の育成、サッカー環境の改善、発展の鍵を握るのは指導者です。指導者の学びは選手の成長に直結します。自分自身も学びながらよりよい講習会・研修会となるよう努めています。

「ユース育成事業」

○トレセン活動

ユース育成事業の柱の一つがトレセン活動です。県内のトレセン活動は、大きく地区・ブロックでの活動と県全体の活動とがあります。県の活動をステージ 3 (S3: えすさん・えすすりー)、地区・ブロックの活動をステージ 4 (S4: えすよん・えすふぉー)と呼んでいます。

S3,S4 活動にサポートとして入ったり、実際に選手への指導を担当したりしています。

——S3 県トレセン活動への関わり

県トレセンスタッフへのアドバイスやトレセンマッチデーでのレギュレーションへの提案などを行います。また、長野県の課題をふまえスタッフで共有すべき内容について明らかにして伝えるなどサポートしています。

——S4 トレセン活動への関わり

S4 活動は、4 種を「ブロックトレセン」として 11 のブロック(北信北(北信リーグ/須坂、中野、飯山)、北信南(北信リーグ/長野市、上水内)、千曲(千曲リーグ)、上小(上小リーグ)、佐久(佐久リーグ)、安曇(安曇リーグ)、松本・塩尻(松本・塩尻リーグ)、諏訪(南信リーグ/諏訪、岡谷・木曾)、上伊那(南信リーグ/上伊那)、下伊那(南信リーグ/飯田・下伊那))で活動しており、現場で指導しているスタッフのサポートに入ったり、実際に選手を指導することを行っています。

3 種の S4 トレセンは「地区トレセン」として北信、東信、南信、中信中体連、中信クラブの 5 地区での活動です。3 種トレセンについても、地区トレセンのスタッフのサポートや助言などを行っています。

現場では本当に多くのボランティアの方々が熱意をもって様々な事業に関わっていただいていることを目の当たりにします。そのおかげで長野県サッカーの土台が作られ、サッカーができる環境が作られているのだと改めて感じます。そうした皆さんの力を合わせよりよい長野県にするためのハブになること、また、2028 国民スポーツ大会を機に後のレガシーづくりが大きな使命と感じています。